

No.	024	—	1019	事務事業名	文化協会育成事業				公的関与	9			
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusy@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援	事業運営方法	補助等	実施計画	該当	事業期間	年度	～	期間設定なし			
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	4 文化・スポーツの推進		主要施策	1 地域文化の継承・発展と文化財の保存・活用				
	事業の目的	地域文化の向上を図るため。				根拠法令等	東温市社会教育関係団体等補助金交付要綱、東温市文化協会会則						
	事業の手段	市民の文化芸術への関心を促し、文化協会を支援します。				掲載計画	東温市教育大綱						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		団体数		組織の維持・拡大		団体	目標	55	58	63	65		
							実績	55	53				
		会員数		組織の維持・拡大		人	目標	820	830	840	850		
							実績	820	749				
						目標							
					実績								
活動内容	①	東温市文化祭(重信会場・川内会場)の開催			④								
	②	市民大学の委託事業の開催			⑤								
	③												
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	1,710千円	50千円	1,710千円								
	計(A)	1,710千円	50千円	1,710千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.580人	3,620千円	0.580人	3,623千円	0.580人	3,598千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		5,330千円	3,673千円	5,308千円								
一次評価者	社会教育係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	1	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	文化協会が東温市文化祭を主催するなど、地域文化の向上を図る活動を行っており、運営補助は必要と考えます。												
有効性	文化協会の活動は地域文化の向上に寄与し、文化行政の支えであり、施策、計画等の指針となる組織の一つです。												
達成度	既存会員の高齢化により、会員数の減少が顕著である一方で、新規会員の獲得ができていない現状があります。												
効率性	文化協会は会員から負担金を徴収しています。また、規模に対して効率的な補助金額となっています。												
当面の課題	会員の高齢化と減少により、役員の負担が増加傾向にあります。また、コロナ禍において、活動が制限されたり、活動機会が減少したりしたこと、加入団体が脱退したり消滅したりした現象も散見されています。												
改計画	団体の存続及び地域文化向上のため、引き続き支援を続けます。また、市が実施する既存講座から新規サークルの育成などを試みます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度は文化祭や市民大学が中止になるなど、文化協会は大きな打撃を受けました。今年度も文化祭の会場が、ワクチンの集団接種場となったため、時期の変更を余儀なくされるなど厳しい状況が続いていますが、東温市の文化の火を絶やさないよう組織体制の強化を支援してください。												

No.	024	—	1050	事務事業名	とうおん出前講座運営事務				公的関与	8			
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会教育係	電話番号	089-640-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	4 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	3 生涯学習社会の推進		主要施策	1 学びあい高めあう生涯学習の推進				
	事業の目的	市民の行政に対する理解や、関心を深めるため。				根拠法令等							
	事業の手段	申請に基づき市職員を派遣し、市の取り組みや暮らしに役立つ情報等を説明します。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	最終目標			
		とうおん出前講座申請件数		申請のあった件数		件	目標 10	12	14	20			
							実績 9	6					
							目標						
							実績						
					目標								
DO	活動内容	①	年間を通して、講座の申請を受け付け、関係課と調整し講師を派遣			④							
		②				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		令和元年度決算	令和2年度決算	令和3年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	0千円	0千円	0千円								
		計(A)	0千円	0千円	0千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.010人	62千円	0.010人	62千円	0.010人	62千円						
	臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円						
全体事業費(A+B)		62千円		62千円		62千円							
一次評価者	社会教育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市の事業や施策について説明を行う事業であるため、市が実施する必要があります。												
有効性	一部他課で、出前講座を通さず講座を行っているところもあるが、競合はしていない。申請に応じて直接の担当課の職員を派遣する事業であるので、講座としては適切といえます。												
達成度	コロナ禍により、生涯学習課側で事業を中止している期間が長期にわたってあったほか、市民の側でも集会等を自粛する動きがあり、回数としては従来に比べて大きく減少しています。												
効率性	実績としては職員を講師として派遣するのみで成立している事業であり、コスト対効果は高いといえます。												
当面の課題	市民の要望を役所に訴えることを主目的としている講座が見受けられることから、出前講座の意義や目的について再検討を行う必要があります。また、コロナ禍により申請数、受講者数が以前に比べ減少しています。												
改革計画	講座の趣旨を明文化するとともに、簡単な質疑応答以外の質問は事前に収集したもののみに回答するなど、趣旨を外れないよう対策をとります。また、コロナ禍における開催についてガイドラインの作成を検討します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	とうおん出前講座運営事務も新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、目標件数よりも実績が減少傾向になっています。また、市民ニーズが多様化していることから、趣旨に沿った講座を適切に実施するためのコロナ禍におけるガイドラインの作成は必須の課題です。												